

# 大自然の中に描く芸術の夢舞台

大学が持つ知的財産を地域社会に役立てよう！

株式会社エム・テック  
相談役

常松 留雄 つねまつ とめお



ふとしたご縁で、私は今年春から、徳島大学や鳴門教育大学の若い先生方と、自然の中に芸術的な造形を演出表現することで、地域の活性化、地域振興に役立ててみようという勉強会のメンバーの一人に参加させていただいています。この構想を起案し実現に向けて熱心に推進されているのは、阿南市出身の著名な版画家吹田文明氏です。構想段階でのとりまとめのリーダーを務めておられるのは、徳島大学総合科学部の名誉教授で彫刻がご専門の河崎良行先生。河崎先生とは、私が在職していた徳島新聞社で県の美術展を担当していた昭和50年代中頃からのお付き合い

で毎月1回開かれる勉強会には、常時5〜6人の若い先生方が参加され、だいたい3〜4時間にわたって、この催しの題名をどうするか、どんな造形物を構築するかなどについて熱心な討論が行なわれています。この試みの特徴は、日頃大学という場で絵画や彫刻を学生に教えておられる先生方が、教室から一歩大きく踏み出して、日頃の成果を、地方自治体といった行政に携わる人たちが、さまざまな企業に働く人たち、農業や商店の人たちと一緒になって、県南の豊かな自然の中の水田や棚田、森林、河川、海辺などを舞台に造形芸術を演出し、この

いで、県展の改革や彫刻を徳島の街並みにといた運動でも随分お世話になりました。

徳大総合科学部の絵画の研究室

ことで地域の活性化、芸術文化の大衆化をめざそうという壮大な実験であるということです。今のところ、開催時期は3年後の平成20年。場所は阿南市全域を想定しています。これから一年かけて、具体的にどんなことを、どこでどうやってやるか、といった構想の立案にとりかかります。行政や企業、民間諸団体に対する協力支援態勢への取り組み等々課題は山積みしているところです。

6月12日の日曜日。一日をかけて勉強会メンバー全員で、第1回目の阿南市の舞台適地視察をしました。あせらず、あわてず、ひるまずに、この徳島大学や鳴門教育大学をコア(核)にした試みが、必ず成功するよう心合わせて頑張ってくださいと思います。

## 略歴

昭和33年 早稲田大学第一法学部 卒業  
 // 社団法人徳島新聞社 入社  
 昭和60年 // 事業部長  
 昭和63年 // 庶務部長  
 平成4年 // 東京支社長  
 平成6年 株式会社エアサービス徳島 代表取締役社長  
 平成10年 株式会社エアトラベル徳島 代表取締役副社長  
 平成13年 株式会社エム・テック 取締役副社長  
 平成16年 // 相談役